



福島県立梁川高等学校

平成 30 年 7 月 13 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 27

■ 数々のものに離れて額の花（赤尾兜子）

「額の花」とは額紫陽花のこと。昨年の校長通信でもご紹介しましたが、美術室と格技場の間に咲く額紫陽花が今年も見頃を迎えています。この場所は普段から人通りが少なく、生徒や先生方が行き来する動線から離れていますが、私たちが見に来てくれることを静かに待っているように思えます。私は青紫や赤紫の花が一斉に咲いている光景に心動かされ、事務の H さんをお願いして一輪挿しに花を生けてもらい、校長室のテーブルに置いて眺めています。季節は二十四節気の小暑に入りました。そろそろ暑中見舞いの準備をしようと思う今日この頃です。



■ 全国高校野球選手権福島県大会の開幕、そして梁高野球部の全盛時代

七夕の7月7日、全国高等学校野球選手権福島大会が開幕し甲子園を目指す球児たちの熱い戦いが始まりました。本校野球部は川俣高校と連合チームを組み、11日に白河高校と対戦し敗れましたが、序盤に得点を重ね中盤までリードするなど澄刺としたプレーで善戦しました。

ところで、大会が始まった7日、私は夕方から同窓会総会に出席しましたが、懇談会の席で本校野球部の全盛時代のことが話題になりました。『創立七十周年記念誌』にもとづき概略を紹介すると次のようになります。時は今から59年前の昭和34（1959）年の夏に遡ります。第41回全国高等学校野球選手権福島大会において、本校野球部は有力校を次々に破り準決勝に進出する快挙を成し遂げました。1回戦は日大東北工業高校を8対0で一蹴し、2回戦は延長10回サヨナラで勿来高校を2対1で破り、3回戦は優勝候補の磐城高校に延長10回の末、2対1で勝利しました。準決勝の喜多方高校戦は3回表に1点を先制するも、5回と6回の裏に1点ずつを許し結局1対2で惜敗しましたが、その快進撃は野球部の歴史に輝かしい1ページを飾り、学校関係者や梁川町民に喜びと感動を与えました。当時の監督であった金山等教諭は『梁川高等学校新聞』に「大会を顧みて」と題する一文を寄せ、活躍の要因をいくつか挙げています。一つが主将を中心としたチームワークの強固さ、二つ目が投手の力投と捕手の好リード、三つ目が打線の不調を補ったバント戦法の成功、四つ目が内外野の堅実な守備などです。そして最後に次の言葉で締め括っています。**「高校野球には特に技術+アルファが必要であるといわれる。アルファはあるいは伝統を意味し、あるいは精神力を意味するであろう。またいわゆるツキというものも含むかもしれない。（中略）しかし大試合においては、ある程度精神力が勝敗の帰趨を決定するのではないかとと思われる。旺盛なファイトが堂々グラウンドで奇蹟とさえ思われることを可能にする。（中略）大胆なようだが結論として、僕は敢えて精神力の勝利と言おう。」**しかし、文章を丁寧に読むと、快進撃の要因が監督のサインを見逃すことなく指示通りチームプレイに徹したことと、猛練習のおかげで選手一人ひとりの技術が向上したことにあることが分かります。つまり、**快進撃をもたらしたものは組織の力と個人の力の融合にあったのです。**このことは組織で仕事をする者にとって考えさせられることではないでしょうか。結びに、連日の登板による疲れから意識朦朧となりながらも、気力を振り絞り力投した投手は、現在の同窓会長である霜山幸八氏であることを申し添えておきます。



野球部の活躍を紹介する
「梁川高校新聞」第28号

各種検定 試験結果

全国商業高等学校協会主催の検定試験の結果をお知らせします。合格した生徒の皆さんおめでとうございます。さらなる研鑽を期待しています。

【電卓実務検定】 第3級合格：10名、第3級普通計算部門合格：4名

第3級ビジネス計算部門合格：2名

【ビジネス文書実務検定】 第2級速度部門合格：1名、第3級合格：9名

第3級文書部門合格：1名、第4級合格：1名

■ 2学年並びに1学年保護者会が行われました



6月29日、2学年保護者会が行われました。11月の修学旅行の引率者と旅行業者の紹介後、学年より旅行の詳細や留意事項について説明がありました。団長である私からは旅行目的を確認し、安全で有意義な旅行になるよう生徒諸君と保護者の皆様に協力を依頼しました。また、7月4日に行われた1学年保護者会では、学年より2年次の選択科目、修学旅行先選定の経緯と日程について、生徒指導部からは学校生活の様子と夏休みの過ごし方について説明がありました。最後に進路アドバイザーの金田さんからは、今すぐ心がけて欲しいことについて講話がありました。ところで私は両方の保護者会に出席したことから、よい機会でもあり次の3点を生徒諸君と保護者の皆様に伝えました。①高校時代は生徒の将来を左右する大切な時期であることを自覚すること、②高校時代に将来自立する力を身につけなければならないこと、③スマートフォンの長時間使用が深刻なトラブルの原因であることから、使用時間を1時間以内にする、④些末な人間関係に煩わされず学習や部活動に力を注ぐこと等について話をさせていただきました。

■ 川俣・梁川連合チーム、初戦敗退するも大健闘！！

7月11日、全国高校野球選手権福島県大会において、本校野球部は川俣高校と連合チームを組み白河高校と対戦しましたが、結果は5対12、8回コールドで敗退しました。しかし、序盤に5点を奪い、6回終了時点で5対2とリードする展開でした。後半に逆転され8回に大量失点を許し力尽きましたが、県大会常連校を慌てさせるなど大健闘しました。今回、連合チームで試合に臨み困難なこともありましたが、選手同士、コミュニケーションを取り、仲が良く雰囲気のととても良いチームを作ったことは、選手の今後の成長に必ずつながっていくと思います。選手の皆さん、そして応援してくれた生徒会役員、音楽部の皆さん、お疲れ様でした。



■ 教室のエアコンの使用が始まりました

7月に入り暑い日が続いていることから、教室内のエアコン設備の利用を早め開始しました。本校では平成28年度より保護者と教職員の負担により、教室にエアコン設備を設置し、夏季における生徒の健康管理と学習環境の整備に努めています。運用については、利用時間、設定温度などに一定のルールを定め、適正な使用に心がけております。涼しい教室で学習がはかどり、生徒諸君の学力が向上することを期待しています。



【スマホ安全教室が行われました】

7月11日、ホームルームの時間を利用しスマホ安全教室が行われました。インターネットやスマホの安全利用に関する啓蒙活動に取り組むeネットキャラバンから講師をお招きし、ネット依存、ネットいじめ、誘い出し、個人情報漏洩、ネット詐欺などのトラブルとその回避方法について、具体的にお話をいただきました。生徒諸君は身近な話題だけに真剣に耳を傾けていました。学校としても生徒がSNS利用によるトラブルに巻き込まれないよう継続的に指導していきます。ご家庭におかれましても、お子さんのスマホの使用状況を把握し、使いすぎなど対して適切な指導をお願い申し上げます。



お知らせ

■ 創立百周年記念事業実行委員会第2回総会が行われました。

7月12日(木)午後6時30分より、梁川中央交流館大研修室において、第2回総会が開催されました。霜山実行委員長の挨拶の後、協議が行われ予算書と募金趣意書が満場一致で採択されました。

東北地区高P連郡山大会が行われました

7月6日、郡山市のビックパレットふくしまにおいて、東北地区高等学校PTA連合会郡山大会が開催されました。本校からは担当者とともに加藤会長さん、庶務の堀越さんも参加しました。東北六県からPTA活動に携わる大勢の保護者が集まり、実践報告、研究協議、講演、高校生発表等が行われました。私も初めて参加させていただきましたが、充実した内容に驚くとともに、PTA活動に熱心に取り組まれている保護者の方々の姿に心打られました。